

2014.9.7.SUN festival hall

朝日新聞 チャリティーコンサート2014 ～空はみんなとつながっている～

来年1月、阪神大震災20周年を迎えます。大きな被害を受けた街は、新しい街へと生まれ変わっています。この震災の教訓を次世代に語り継ぎ、生かしていきたいと願っています。しかし、同じように地震の被害を受けた東日本大震災の被災地・東北は発生から3年余り経ちますが、復興はようやく始まったばかりです。被災地に足を運んでみると、津波に流されて建物が跡形もなくなったままの場所が今なお点在しています。そんな中、子どもたちからこんな声があると聞きました。「津波でピアノが流されてしまい、合唱や演奏の練習ができないんです」。ピアノは演奏活動や音楽教育に欠かせない楽器ですが、生活や街の再建を優先せざるをえず、文化面の復興はまだまだ取り組めていないのです。

関西と東北。600キロ以上も離れ、気候や風土、住んでいる人の気質も違います。でもこの空は東北の空とつながっています。そればかりか土砂災害で被災した広島や台風・大雨で被害にあった日本各地の空ともつながっています。

音楽を通して、子どもたちが元気な歌声と笑顔を取り戻すお手伝いをしたい。そんな思いを抱くアーティストやたくさんの多くの方々にご賛同をいただき、今回のチャリティーコンサートは実現しました。まずは様々な音楽シーンで役立つピアノを寄贈し、役立てていただこうと思います。

朝日新聞社

